

みんなの笑顔と安心を乗せ  
明るい未来へ出発進行



宇和島自動車(株)は1918年の創業以来、バス事業を中心に通勤通学や買い物など、南予地域の暮らしを支えてきました。「人に優しいバス会社」をモットーに、お年寄りや障がいのある人も安心して利用できるよう車両のバリアフリー化などにも努めています。

近年はデジタルの活用にも取り組んでいて、GPSによるリアルタイム運行情報提供サービスやスマホによるキャッシュレス決済を導入し、バス待ち時間の有効活用やスムーズな運賃支払いを図っています。

2024年11月からは、道の駅みまバス停で「スマートバス停」の実証実験を開始しました。これは、時刻表や運行情報をバス停の電子画面でタイムリーに表示するものです。これにより、事故などによる運行障害発生時に迅速な情報提供が可能になります。また時刻表の張り替え作業が無くなることで、人的労力解消にもつながるのではと期待しています。

代表取締役社長の村重敦さんは「これからも時代に合わせながら、身近な足としてみなさんの笑顔を運んでいきたい」と地域の明るい未来を目指して走り続けます。

みんなの笑顔と安心を乗せ  
明るい未来へ出発進行



宇和島自動車(株)は1918年の創業以来、バス事業を中心に通勤通学や買い物など、南予地域の暮らしを支えてきました。「人に優しいバス会社」をモットーに、お年寄りや障がいのある人も安心して利用できるよう車両のバリアフリー化などにも努めています。

近年はデジタルの活用にも取り組んでいて、GPSによるリアルタイム運行情報提供サービスやスマホによるキャッシュレス決済を導入し、バス待ち時間の有効活用やスムーズな運賃支払いを図っています。

2024年11月からは、道の駅みまバス停で「スマートバス停」の実証実験を開始しました。これは、時刻表や運行情報をバス停の電子画面でタイムリーに表示するものです。これにより、事故などによる運行障害発生時に迅速な情報提供が可能になります。また時刻表の張り替え作業が無くなることで、人的労力解消にもつながるのではと期待しています。

代表取締役社長の村重敦さんは「これからも時代に合わせながら、身近な足としてみなさんの笑顔を運んでいきたい」と地域の明るい未来を目指して走り続けます。

